

# 次期計画策定について

令和8年5月

# 次期総合計画の全体構成

## 第五次計画

まちづくりの基本方針

まちの将来像

土地利用構想

施策の大綱  
(分野ごとの目標)

- |            |             |          |             |             |             |            |
|------------|-------------|----------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 01<br>行政経営 | 02<br>保健・福祉 | 03<br>環境 | 04<br>防災・安全 | 05<br>教育・文化 | 06<br>産業・経済 | 07<br>都市整備 |
|------------|-------------|----------|-------------|-------------|-------------|------------|

分野横断テーマ(総合戦略)

施策の展開  
(分野ごとの  
取り組むべき政策)

- |            |             |          |             |             |             |            |
|------------|-------------|----------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 01<br>行政経営 | 02<br>保健・福祉 | 03<br>環境 | 04<br>防災・安全 | 05<br>教育・文化 | 06<br>産業・経済 | 07<br>都市整備 |
|------------|-------------|----------|-------------|-------------|-------------|------------|

基本構想(10年間)

基本計画(5年間)

## 次期計画全体構成イメージ

まちの将来像(基本方針)

10年後に長野市が目指す『未来の姿』

土地利用構想

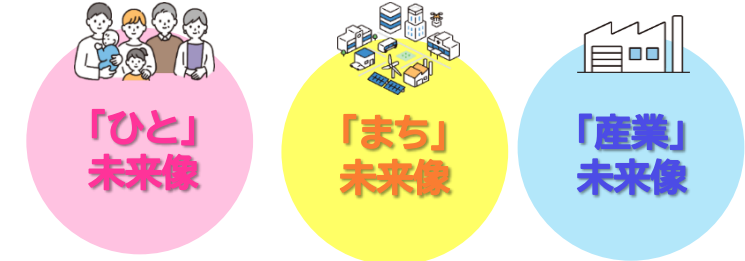
適正な土地利用を促進するための基本的な方針

行政運営の基本方針

市政運営の基本的な姿勢を示す

施策の大綱

まちの将来像に基づき、  
「ひと」「まち」「産業」  
それぞれの未来像を示す



分野横断テーマ

施策の展開 まちの将来像に基づき、13分野の「分野別未来像」を示す

- |                |            |            |               |            |                |               |              |              |            |              |             |             |
|----------------|------------|------------|---------------|------------|----------------|---------------|--------------|--------------|------------|--------------|-------------|-------------|
| 01<br>「子ども・若者」 | 02<br>「教育」 | 03<br>「福祉」 | 04<br>「医療・健康」 | 05<br>「環境」 | 06<br>「コミュニティ」 | 07<br>「防災・安全」 | 08<br>「都市整備」 | 09<br>「文化芸術」 | 10<br>「観光」 | 11<br>「スポーツ」 | 12<br>「農林業」 | 13<br>「商工業」 |
|----------------|------------|------------|---------------|------------|----------------|---------------|--------------|--------------|------------|--------------|-------------|-------------|

基本構想(10年間)

基本計画(5年間)

基本構想(10年間)	長野市の将来像	10年後に長野市が目指す将来の姿
	施策の大綱	長野市の将来像に基づく、「ひと」「まち」「産業」部門における将来の姿 
	行政経営の基本方針	行政の行動の考え方や方向性を示すもの
	土地利用構想	適正な土地利用を促進するための基本的な方針を示すもの

分野横断テーマ

基本計画(5年間)	施策の展開 長野市の将来像、施策の大綱に基づく、13分野の分野別の目指す姿												
	<table border="1"> <tr> <td>01 「子ども・若者」</td> <td>02 「教育」</td> <td>03 「福祉」</td> <td>04 「健康・医療」</td> <td>05 「環境」</td> <td>06 「コミュニティ」</td> <td>07 「防災・安全」</td> <td>08 「都市整備」</td> <td>09 「文化芸術」</td> <td>10 「観光」</td> <td>11 「スポーツ」</td> <td>12 「農林業」</td> <td>13 「商工業」</td> </tr> </table>	01 「子ども・若者」	02 「教育」	03 「福祉」	04 「健康・医療」	05 「環境」	06 「コミュニティ」	07 「防災・安全」	08 「都市整備」	09 「文化芸術」	10 「観光」	11 「スポーツ」	12 「農林業」
01 「子ども・若者」	02 「教育」	03 「福祉」	04 「健康・医療」	05 「環境」	06 「コミュニティ」	07 「防災・安全」	08 「都市整備」	09 「文化芸術」	10 「観光」	11 「スポーツ」	12 「農林業」	13 「商工業」	

案1

魅力満彩“ながの”～みんなで創る住みたいまち～

案2

幸せを未来へ紡ぐまち“ながの”～住みたいまちはみんなで創る～

案1

魅力満彩“ながの”～みんなで創る住みたいまち～

日本が本格的な人口減少局面を迎え、社会情勢が急速に変化する中、将来を見通すことが難しい時代となっています。このような状況下でも、本市が持続可能なまちづくりを進めるためには、市内外から「住みたい」「住み続けたい」と感じてもらえる「選ばれる都市」を目指すことが重要です。

豊かな自然や里山の環境、多様な主体が居心地の良さを感じる居場所や活躍できる環境、安全・安心な生活基盤、地域独自の文化やまちなみなど、多様な魅力にあふれ、これら要素が調和し、誰もが住みたいと感じる魅力的な都市となることを、「魅力満彩」として表現しています。

また、変化の激しい時代だからこそ、行政だけでなく、市民、企業、団体など、本市に係る多様な主体が、それぞれが果たせる役割を主体的に担い、互いに支え合う社会を作り上げていくことが必要です。

長野市の普遍的価値である都市ブランド「この街で、わたしらしく生きる。」を、市民をはじめ多様な主体の協働により育みながら、まちの将来像の実現に向けて取り組むことを、「みんなで創る住みたいまち」と表現しています。

## 案2

# 幸せを未来へ紡ぐまち“ながの”～住みたいまちはみんなで創る～

日本が本格的な人口減少局面を迎え、社会情勢が急速に変化する中、将来を見通すことが難しい時代となっています。このような状況下でも、本市が持続可能なまちづくりを進めるためには、市民一人ひとりの幸福感を高めていくことが重要です。

本市では、これまで第五次長野市総合計画において、まちの将来像を「幸せ実感都市ながの」として、市全体の“幸せ”の総和の拡大を目指して取り組んできました。近年、物質的豊かさから心の豊かさを重視する方向へと社会の価値観が変化するなか、ウェルビーイングという概念が注目されています。

人口減少下でも市民がウェルビーイング、すなわち“幸せ”の様々な要素をつなぎ合わせ、積み重ね、未来へ向けて創り上げていくことで、将来にわたり幸せを実感できるまちを目指していくことを、「幸せを未来へ紡ぐまち」という言葉で表しています。

また、変化の激しい時代だからこそ、行政だけでなく、市民、企業、団体など、本市に係る多様な主体が、それぞれが果たせる役割を主体的に担い、互いに支え合う社会を作り上げていくことが必要です。

長野市の普遍的価値である都市ブランド「この街で、わたしらしく生きる。」を、市民をはじめ多様な主体の協働により育みながら、まちの将来像の実現に向けて取り組むことを、「住みたいまちはみんなで創る」と表現しています。

### 1 誰もが安心できる居場所、挑戦できる環境の創出

- すべての人にとって安心できる居心地の良い居場所がある。
- 誰もが様々なことを学び、挑戦できる。

### 2 多様性を理解し、支え合う心の醸成

- 一人ひとりの違いを理解し、認め合える寛容な心が育まれている。
- 周りの人と互いに良好な関係が築かれ、支え合うことで安心した生活が送れている。

### 3 未来の社会の主役を育成

- 子どもや若者が、学校・家庭・地域等において、様々なことを学び、体験している。
- 地域の歴史や文化に触れる機会がある。
- 子育て世代を地域全体で支えている。

### 4 心と体の健やかな暮らしの実現

- 自分の心と体が健やかと感じている。
- 自分らしくいきいきと暮らすことができる社会が築かれている。

### 1 安全・安心な生活基盤の確保

- 自然環境が有する多様な防災機能が活用されながら、災害に強いインフラが整備されている。
- 災害時にも早期に復旧できる体制が整っている。
- 地域内のつながりにより、災害時や日常の困りごとにも対応できる自助・共助・公助の体制が整っている。

### 2 快適に暮らし活動できるコンパクト・プラス・ネットワークの形成

- 中心市街地などでは都市機能が集積され、各地域の拠点では生活の利便性が向上している。
- 各地域の拠点間が交通ネットワークでつながっている。
- 各地域の特徴に応じた多様な暮らしができる。

### 3 自然環境や景観の保全・活用と脱炭素の推進

- 豊かな自然環境や美しい景観が保全され、地域のアイデンティティとして引き継がれている。
- 自然環境とにぎわいが共存している。
- 環境に負荷をかけず、脱炭素による持続可能な社会が築かれている。

### 4 地域コミュニティ・つながりの強化

- 地域の活動に誰もが参加しやすい環境が整っている。
- 地域の担い手となる人材が育まれている。
- 多様な主体による支え合いにより、地域コミュニティが維持され、新たな活力が生まれている。

## 1 風土や歴史・文化への誇りの醸成

- 地域の風土や歴史・文化への愛着と誇りが育まれ、地域資源として保全、継承されている。
- 地域の特色や魅力が国内外に発信されている。
- スポーツや文化・芸術などに親しむ機会が身近にある。

## 2 地域産業のブラッシュアップと地域経済の好循環の実現

- 地勢、気候、歴史などを活かした長野市ならではの地域産業が守られ、磨き上げられている。
- 地域外の需要が取り込まれ、地域で経済が循環し、さらなる投資が生まれている。

## 3 新たな価値、サービス、産業の創出

- 産業間の連携や先進技術の活用により、付加価値の高い製品・サービスが生まれている。
- スポーツや文化・芸術など長野市の強みとなる分野を活かし、新たな産業が生まれている。

## 4 多様な人材が活躍できる環境の充実

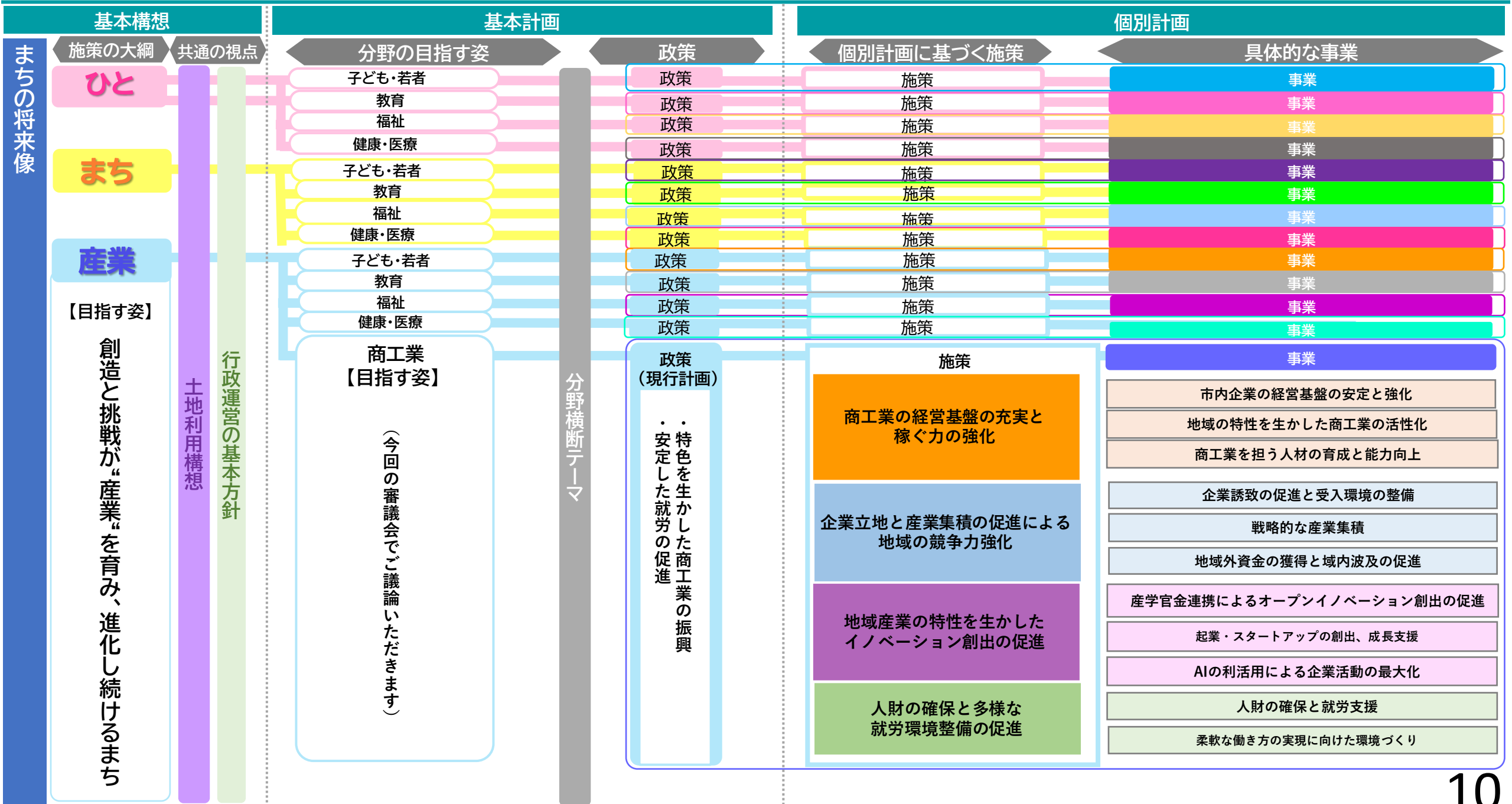
- リスキリングや学び直しを通じて、幅広い人材が育ち、活躍している。
- 個人のライフスタイルに合わせた、多様な働き方、柔軟で働きやすい環境が整っている。

# 次期総合計画の体系



まちの将来像

# 次期総合計画の構成と商工業振興計画の構成(案)



【総合計画産業部門の将来の姿（P8）より抜粋】

- ・ 地勢、気候、歴史などを活かした長野市ならではの地域産業が守られ、磨き上げられている。
- ・ 地域外の需要が取り込まれ、地域で経済が循環し、さらなる投資が生まれている。
- ・ 産業間の連携や先進技術の活用により、付加価値の高い製品・サービスが生まれている。
- ・ スポーツや文化・芸術など長野市の強みとなる分野を活かし、新たな産業が生まれている。
- ・ リスキリングや学び直しを通じて、幅広い人材が育ち、活躍している。
- ・ 個人のライフスタイルに合わせた、多様な働き方、柔軟で働きやすい環境が整っている。

【本審議会での意見】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

- ・ 特色を生かした商工業の振興
- ・ 安定した就労の促進

商工業の経営基盤の充実と稼ぐ力の強化

- 市内企業の経営基盤の安定と強化
- 地域の特性を生かした商工業の活性化
- 商工業を担う人材の育成と能力向上

企業立地と産業集積の促進による地域の競争力強化

- 企業誘致の促進と受入環境の整備
- 戦略的な産業集積
- 地域外資金の獲得と域内波及の促進

地域産業の特性を生かしたイノベーション創出の促進

- 産学官金連携によるオープンイノベーション創出の促進
- 起業・スタートアップの創出、成長支援
- AIの利活用による企業活動の最大化

人材の確保と多様な働き方の促進

- 人材の確保と就労支援
- 柔軟な働き方の実現に向けた環境づくり